

科目番号	1605	領域区分	助産学領域	
学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
1・2	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	助産学特論 I 【ウィメンズヘルス】 (Advanced Midwifery I : Women's Health)			
担当教員名	米山 万里枝			
授業の概要及び到達目標				
<p>ウィメンズヘルスの対象となる女性やその家族について、社会の動向を理解し、女性のライフサイクル各期の特徴を理解し健康問題に対する援助とその実践能力を高める。</p> <p>世界的な視野から母子保健指標を俯瞰すると社会的な成熟や文化的背景は女性の健康と権利の保障に深く関わっている。社会的背景を包含した女性のヘルスプロモーションと立場(ジェンダーギャップ指数: Gender Gap Index、以下; GGI)などをとらえながら、リプロダクティブヘルス/ライツや女性の健康に関わる専門職である助産師の視点で考える女性と相互の影響要因である家族を包含した生殖性に関わるメンタルヘルスケアやヘルスプロモーションを捉えた健康教育において新たな方法論やカウンセリング技術などの今日的な課題および支援方策を探求する。</p>				
準備学習等				
<p><b>【授業：講義・プレゼンテーションの準備学習】</b></p> <p>以下の課題を予習しプレゼンテーションできることを前提に講義を進めるので事前学習をしておくこと。提示された事前学習に取り組み、討論の準備をして授業に参加すること。</p> <p>以下のテーマに即して学生各自が発表</p> <p>1～2回 WHOの健康概念とヘルスプロモーション</p> <p>3～4回 リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念と成り立ち</p> <p>5～6回 ウィメンズヘルス特にリプロダクション領域の理論および概念</p> <p>7～9回 女性のライフイベントと健康問題とヘルスプロモーション ※メンタルヘルス、ドメスティック・バイオレンスを含む</p> <p>1) 思春期世代への健康教育</p> <p>2) 性成熟期世代へのヘルスプロモーションと課題</p> <p>3) 更年期世代への健康教育</p> <p>4) 遺伝看護に関する教育指導と課題</p> <p>10～11回 生殖医療とカウンセリング (講義)</p> <p>12～13回 女性の健康に及ぼす社会的要因と看護の役割</p> <p>14～15回 まとめ</p> <p>講義・プレゼンテーション後にはテキストや講義資料等の復習をし、提示されたレポート等に取り組むこと。</p>				

成績評価の方法	プレゼンテーション内容等（40%）、グループワークの発表内容（10%）、課題レポート（50%）にて総合的に評価する。
テキスト	適時指示する。
参考図書	Fogel, C.I., Woods, N.F.: Women's Health Care In Advanced Practice Nursing, Springer, 2017.
備考	

### 授 業 計 画

#### 【到達目標】

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、女性のライフサイクルにそった健康問題、特定のヘルスケアニーズ、受胎調節実地指導、ウィメンズヘルス看護の役割などを、理論および概念を基盤に、看護や助産に関わる現象や対象の理解を深め、対象の健康に関するアセスメントと診断、有効なケアについて探求する。

#### 【授業内容】

以下のテーマに即して学生各自が発表

- 1～2回 WHOの健康概念とヘルスプロモーション
- 3～4回 リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念と成り立ち
- 5～6回 ウィメンズヘルス特にリプロダクション領域の理論および概念
- 7～9回 女性のライフイベントと健康問題とヘルスプロモーション
  - ※メンタルヘルス、ドメスティック・バイオレンスを含む
  - 1) 思春期世代への健康教育
  - 2) 性成熟期世代へのヘルスプロモーションと課題
  - 3) 更年期世代への健康教育
  - 4) 遺伝看護に関する教育指導と課題
- 10～11回 生殖医療とカウンセリング（講義）
- 12～13回 女性の健康に及ぼす社会的要因と看護の役割
- 14～15回 まとめ